

自然としっかり英語力が身につけていく

教材活用シリーズ 第 183 回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

(株)日本標準
『言えたよ 書けたよ My ABC』
シリーズ（5・6 年）



(株)日本標準
教育企画編集部

1 『My ABC』シリーズで学べること

英語教材『My ABC』シリーズには、5 年生向けの『My ABC』と 6 年生向けの『My ABC+』があります。

どちらもアルファベットの大文字・小文字から、自分のことを表現できることばまでを学ぶことができます。話したり、聞いたり、読んだりしながら、書く練習に取り組みます。子どもたちは、豊かな感覚で、アルファベットやことばを身につけていきます。

また、紙面には二次元コードが載っているの

いつでも練習することばの音声を確認できます。

2 スモールステップの学習展開

『My ABC』シリーズは、次に挙げる 3 つの段階的な構成で成り立っています。

① アルファベット・カードゲーム

ゲームで、アルファベットの音を声に出したり、作業したりすることで、無理なくアルファベットの文字の発音や形を覚えます。

ゲームには、付録のアルファベットカードを

使います。



アルファベットカードとアルファベット・カードゲームのページ（『My ABC』ゲームのやり方）

〈例〉・「ならべゲーム」→ A から Z まで、声に出しながらカードをおいていく。
・「かたづけゲーム」→ ならべたカードをクラスで順番に声に出しながら、かたづける。

② アルファベット
A から Z まで、アルファベットの名称読みや音読みを聞いたり、大文字・小文字を書く練習をしたりします。

音声については ant と apple と astronaut のように、a で始まる複数のことばを連続して聞

くことで、アルファベットがどんな音を表しているかに気づくことができます。

③ことば

「色」や「スポーツ」、「学校行事」など、ジャンル毎に、身のまわりのことばを書く練習をします。そして、各ジャンルの最後では、友だちと交流しながら、自分のことについて文で表現します。学年の終わりには、使えることばが増えていることを実感できるはずです。

また、1ページ毎にすべてのことばを書き進めるのではなく、子どもたちが自分で書いてみたいと思うものから練習するのもおすすめです。自分でことばを選ぶと、一つずつ語彙が増えていく過程を楽しみ、成長を実感しやすくなります。

①②③のステップにより、着実に力をつけていくことができます。

3 今後の英語学習の土台となる一冊

小学校高学年で教科として英語を学び始め、中学校では、その学びを広げ、深めていきます。小学校では、英語の知識だけでなく、英語への興味・関心の基礎を築く必要があります。

そのため、意欲的に学ぶ姿勢を引き出して、今後の英語学習にいかすことのできる工夫が施されています。

①なじみがあることばの練習

日常生活で使われる身近なことばを練習し

ます。それぞれのことばにはかわいらしいイラストがついていて、イメージをふくらませることがができます。日々のくらしと結びつけやすく、学習意欲が高まります。

②英語への抵抗感を和らげる工程

英語を学習し始めたばかりの子どもたちも、取り組みやすくなっています。例えば、ことば「色」のページでは、友だちの好きな色をぬる箇所があります。英語の練習ではない活動をはさむことで、英語に苦手意識をもつことを防ぎます。



ことば「色」のページ
(『My ABC』)
友だちの好きな色をぬることで、
英語への抵抗感が和らぐ。

③友だちとの楽しい交流

紙面には、自分が好きなもの、友だちが好きなもの、クラスで好きだった人が多かったものなどを書く箇所が適宜設けられています。人とコミュニケーションを取りながら、英語表現に慣れ親しんでいくことができます。



ことば「学校行事」のページ(『My ABC +』)
友だちと思い出にのこっている学校行事をたずね合い、書く。

『My ABC』シリーズを通して、子どもたちには、向上心をもって英語を学ぶ土台をつくってほしいと考えています。グローバル化が進む今、英語教育がもつ可能性はますます大きくなっています。子どもたちが学びを力に、自らの道を歩んでいくことを願っています。



© I.S.-M./F.S./WDR mg